――モノづくりの応援団!!――　九州の企業支援機関

企業活動を後押し

世界では新興国の発展に伴う経済成長が予想される一方、国内は東日本大震災の影響が深刻で、わが国の経済は予断を許さない状況だ。そのような中では企業の経営改善や新規事業展開が一層求められる。九州各地には自治体や外郭団体の企業支援機関が経営改善や新事業展開の後押しを行っており、その重要性はますます高まっている。

試験研究や技術開発を通じた企業支援を行っているのは福岡県工業技術センター（福岡県筑紫野市）だ。化学繊維、生物食品、インテリア、機械電子の4研究所で構成する。生物食品研究所は久留米市、インテリア研究所は大川市、機械電子研究所は北九州市にあり、それぞれが地場産業と密接に活動している。

同センターには会員数201社の交流組織、福岡県工業技術センタークラブ（津田純嗣会長＝安川電機社長）がある。クラブには材料、バイオ、デザイン、機械電子の4部会があり、企業間の交流や共同研究が活発だ。

福岡県中小企業振興センター（福岡市博多区）は中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画承認を支援している。センターは専門組織「経営革新センター」を設置。主に6人を支援の手段としているのは「計画によって経営戦略が明確になるというメリットがある」（同センター）ためだ。さらに計画策定を通じて課題や目標を明確にすることで、必要な支援も明確になるというメリットもある。

福岡県は経営革新計画の承認企業数が全国トップクラス。近年は毎年300件を超えている。1999年の制度開始以来、09年度までの累計件数は2655件で全国都道府県で3位。11年5月までの累計は3183件となっている。

同県は先端技術の振興にも力を入れており、半導体は重点分野の一つだ。3月には糸島市の糸島リサーチパークに三次元半導体研究センターと社会システム実証センターを開所した。複数の半導体チップを積層する技術開発と、携帯電話やICカードを使ったシステム実証などを行う施設で技術者14人と事務員5人で運営する。

三次元半導体研究センターは三次元半導体の試作・組み立てラインを整備。温度や湿度、振動、衝撃への耐性も評価できる。一方の社会システム実証センターは、電子マネーや社会保障カードに関する認証や無線通信の技術開発に取り組む。

福岡県の三次元半導体研究センターと社会システム実証センター

海外市場を開拓へ

直鞍産業振興センター（ADOX福岡、福岡県直方市）は広さ360平方メートルの電波暗室や車載機器用電波暗室などを備えたEMC（電磁環境適合性）測定の専用施設。11年7月には設備を生かした「福岡EMCスクール」を、福岡県工業技術センター機械電子研究所（北九州市八幡西区）と共同で開設する。基礎から実習までを学ぶ5講座を11年度中に計画しており、延べ200人の受講者を見込んでいる。

「はじめの一歩の手助けから次の一歩の後押し」まで支援するとしているのは、大分県産業創造機構（大分市）。11年度の重点項目は、経営相談・指導充実、取引の振興（国内外への販路拡大の推進）、新事業・技術の創出、人材育成の4分野だ。

特に国内外への販路開拓は中国をはじめとするアジア各国に開拓を目指す企業を支援するため、ワンストップでの相談対応ができるよう海外戦略担当を配置した。また海外ビジネスで必要とする語学力向上を目的に、中国・韓国語の研修事業も開始している。

そのほか自動車関連産業への新規参入支援や大分県LSIクラスター形成推進会議（大分市）が取り組む海外販路開拓支援もある。また大分大学のベクトル磁気特性理論などの技術シーズを活用した、電磁力応用機器産業の創出にも力を入れている。

長崎県産業振興財団（長崎市）は誘致企業に対する充実した支援制度を設けている。補助金制度では製造業向けに「誘致企業工場等設置特別奨励措置」が、コールセンターやIT関連企業向けには「情報処理・IT関連産業立地促進補助金」がある。

このうち誘致企業工場等設置特別奨励措置は誘致企業の設備投資や新規雇用などに応じて、最大30億円の補助金を交付する。一方情報処理・IT関連産業立地促進補助金は通信費、賃借料、新規雇用及び設備投資額に応じて、最大2億4000万円の補助金を交付する。対象企業の種類により要件が異なっており、コールセンターや事務処理センターなどの「情報処理集約型企業」は新規雇用が50人以上であること、「IT関連企業」では11人以上であることが条件だ。

高まるベンチャー支援

新産業の創出につながるベンチャー企業の育成も支援機関の重要な役割の一つ。福岡県では福岡県産業・科学技術振興財団（ふくおかIST、福岡市中央区）がベンチャーサポートセンターを開設。資金調達や販路開拓、経営、人材面での支援につながるようビジネスマッチングを中心に取り組んでいる。

その柱となっている事業がビジネスプランを発表する「フクオカベンチャーマーケット（FVM）」。ベンチャーキャピタルなどが会員のフクオカベンチャーマーケット協会（同中央区）が主催、同サポートセンターが運営している。毎月1回「マンスリーマーケット」が開かれ、10社程度が発表。県外企業の発表も可能だ。

7月25日は「拡大版マンスリーマーケット」と題して国内外の20社以上が参加する製品展示、商談会も同時開催する。時間は11時から。場所は同中央区のアクロス福岡。

北九州市では北九州産業学術推進機構（FAIS＝フェイス、北九州市若松区）の動きが活発。大学や企業が集積する北九州学術研究都市（同区）の運営や産学官連携のコーディネートとともに、中小企業支援やベンチャー企業創出、育成が事業の柱。

FAISの専門スタッフが経営やものづくり、知的財産など企業活動に関する相談への対応、支援を行う。自動車産業へ参入を目指す企業に対するサポートにも注力している。

また市内の企業が産学官共同で技術・製品を開発する際の費用を一部助成する、「中小企業産学官連携研究開発助成制度」も設けている。

ベンチャー企業に対しては市内にある複数のインキュベーション施設の運営、入居企業の事業相談や販路開拓、助成による支援を行う。「北九州ベンチャーイノベーションクラブ（KVIC）」の運営を通じたビジネスマッチングの機会も積極的に提供している。

北九州産業学術推進機構の企業マッチングイベント「KVICフェア」の様子

まちづくりも進める

九州大学学術研究都市推進機構（OPACK、福岡市西区）は、同大伊都キャンパス（同西区）を中心としたまちづくりを進めている。九州大は福岡市内に分散しているキャンパスを、19年度までに伊都キャンパスに移転統合する。産学官による共同研究を後押しすることで企業支援につなげることも、OPACKの重要な事業の一つだ。

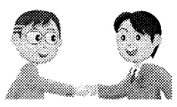
移転に合わせて地元産学官には同西区と隣接する福岡県糸島市で学術研究都市を整備する構想がある。OPACKは県や市、九州大学、地元経済界が出資して04年10月に設立され、立地促進などまちづくりに関するマネジメントを手掛けている。

九州大学学術研究都市推進機構が取り組むまちづくりの中心、九州大学伊都キャンパス

応援します、中小企業のパワーアップ!

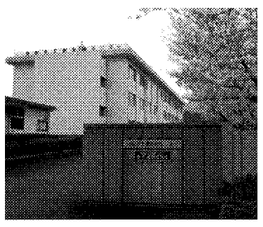
まずは、ご相談下さい!!

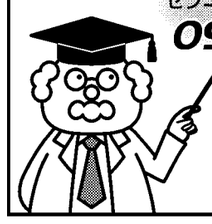
○仕事を発注したい、受注したい
○経営や技術に関するアドバイスを受けたい（経営革新含む）
○自社製品・自社技術の販路開拓・拡大を図りたい
○事業を新たに始めたい、新分野への進出を目指したい
○新製品・新技術の開発に関するアドバイスを受けたい
○研究開発のパートナーを探している（産学官連携・異業種交流含む）
○情報化や人材の育成を図りたい
○事業を円滑に承継したい



財団法人　大分県産業創造機構
〒870-0037 大分市東春日町17番20号ソフトバークセンタービル内
TEL 097-533-0220　FAX 097-538-8407
http://www.columbus.or.jp　E-mail:ossk@columbus.or.jp

製品開発、技術課題の解決へ!
福岡県工業技術センターは県下4つの研究所で県内企業の技術支援を行います。





化学繊維研究所（筑紫野市）
セラミックス・高分子材料、繊維関係
092-925-7402

機械電子研究所（北九州市）
機械、金属材料、電子技術関係
093-691-0231

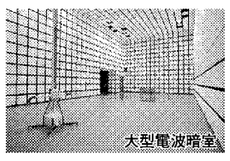
インテリア研究所（大川市）
木質系材料、家具関係
0944-86-3259

生物食品研究所（久留米市）
バイオ、食品関係
0942-30-6644

企画管理部（筑紫野市）
工業技術センター全体の企画調整
TEL:092-925-5977
FAX:092-925-7724

平成23年度「福岡EMCスクール」7月13日より開講

■EMC入門講座Ⅰ・Ⅱ
■EMC対策講座Ⅰ・Ⅱ
■EMC解析講座


大型電波暗室

詳細はURL　http://adox-fukuoka.jp/

ADOX Fukuoka
財団法人 直鞍情報・産業振興協会
直鞍産業振興センターADOX福岡
〒822-0031　福岡県直方市大字植木1245-2
TEL 0949-29-1400　FAX 0949-24-5300

長崎県　工場・事業所の増設・新設をお考えの企業様へ

○アジアへの展開に適した立地環境!
～中国・東アジアに近く、アクセスが良好
○優秀な人材が豊富!
～工業高校生の国家資格試験取得数が上位
○充実した優遇制度!
～投資・新規雇用に対して最大30億円の補助等
○リスクヘッジに!
～拠点設備の分散化に適しています。

このほか、適地のご提案からアフターフォローまでサポート致しますので、お気軽にお問い合わせください。

財団法人長崎県産業振興財団
〒850-0862 長崎市出島町2番11号（出島交流会館6階）
電話 095-820-8890　FAX 095-827-5243
http://www.joho-nagasaki.or.jp/invest/　（担当:渡辺）

福岡県にアジアの先端システムLSI開発拠点が完成!!

社会システム実証センター
先端システムLSI開発成果の製品化を加速するために、開発した先端半導体製品の評価・実証を行う設備・ノウハウを提供する拠点施設
●先端的基盤技術3分野（認証、無線通信、組込みソフトウェア）の実証実験設備
●試作品・開発品の評価
●実証実験データーやノウハウの提供と蓄積（実証実験データ蓄積・解析用サーバ）
●企業等の実証実験実施の支援　●解析機器・電波暗室等の専用無線・通信測定室
●研究開発ラボ室　●セミナー室・会議室等

三次元半導体研究センター
先端のシステムLSI関連製品開発のため、異種チップの混載や多層化などの高密度実装の研究開発、試作・評価を支援する、実装機器類、評価機器、設計ツールを完備した拠点施設
●先端実装である部品内蔵基板試作ライン
●高密度実装対応（クラス1000のクリーンルーム）
●実装機器（フリップチップボンダー他）及び評価機器を整備
●高度分析・評価機器と分析用サンプル加工　●インキュベーション室

お問い合わせ先
財団法人福岡県産業・科学技術振興財団（ふくおかIST）
社会システム実証センター　三次元半導体研究センター
〒819-1122 福岡県糸島市東1963-4
TEL:092-331-8510　FAX:092-331-8515
E-mail:jiss-itoshima@ist.or.jp
URL　http://jiss.ist.or.jp

「知」の集積を目指して10年。北九州学術研究都市

10月19日（水）　10周年記念式典・記念講演 開催
講演者　奥村　直樹　氏
総合科学技術会議議員
元新日本製鐵（株）代表取締役副社長

10月19日（水）～21日（金）　第11回産学連携フェア同時開催

入居企業募集中!
●貸研究室月額　2,500円／㎡（共益費含む）
●研究開発助成金制度あり

財団法人 北九州産業学術推進機構
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2番1号　産学連携センター1階
http://www.ksrp.or.jp/　E-mail:info@ksrp.or.jp
Tel.093-695-3111　Fax.093-695-3010

経営革新に挑戦する中小企業を応援します!

福岡県内中小企業が自助努力の精神にのっとり、新商品開発や新分野進出等により、中小企業基本法が目標とする「独立した中小企業」（独自の技術・ノウハウを持った中小企業）を目指す「新たな取り組み」を促進することにより、本県の中核的中小企業の創出を図るため、経営革新事業を推進しています。

経営革新計画の要件
経営革新計画の内容は、新商品の開発や生産等、下記のような新たな取り組みにより、成長・発展を図るものであること。
「新たな取り組み」とは
1. 新商品の開発又は生産
2. 新役務の開発又は提供
3. 商品の新たな生産又は販売方法の導入
4. 役務の新たな提供の方法の導入その他の新たな事業活動

経営革新計画の流れ
【中小企業者】経営革新計画作成
事前相談・指導
革新計画申請
承認
【中小企業振興センター・県】審査・承認
相談・指導　商工会議所・商工会
※毎月審査会を行っておりますので、正式に受付けた月の翌々月初めに承認になります。

経営革新計画承認のメリット
経営革新計画の承認を受けると、以下のような支援策をご利用いただけます。

補助金
■福岡県中小企業経営革新商品化補助金

融資
■政府系金融機関による低利融資制度
■小規模企業者等設備資金貸付制度の特例（設備資金貸付制度）
■福岡県中小企業融資制度（経営革新支援資金）
など

その他の優遇措置
■特許関係料金減免制度
■中小企業信用保険法の特例（信用保証の特例）
など

経営革新に関するご相談は
財団法人福岡県中小企業振興センター　経営革新センター
福岡市博多区吉塚本町9-15　TEL 092-622-5432／FAX 092-624-3300　URL http://www.joho-fukuoka.or.jp

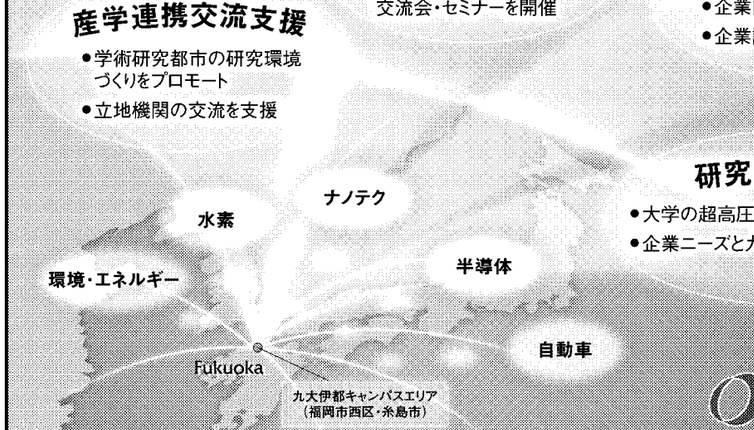
世界へ アジアへ 向けた頭脳拠点 九州大学学術研究都市へ

情報の総合窓口
●九大学研都市の土地・施設情報を集約
●企業と大学をつなぐ交流会・セミナーを開催

企業立地支援
●企業向けの現地視察会を開催
●企業訪問により情報を提供

産学連携交流支援
●学術研究都市の研究環境づくりをプロモート
●立地機関の交流を支援

研究開発支援
●大学の超高圧電子顕微鏡を民間開放
●企業ニーズと九大シーズの連携を支援



財団法人 九州大学学術研究都市推進機構
〒819-0395　福岡市西区徳永105-1MJR九大学研都市駅前1階
TEL 092-805-3677　FAX 092-805-3678
九大学研都市等に関する情報はこちらへ
http://www.opack.jp